

室内環境学会九州支部の活動紹介とさらなる発展をめざして

佐藤 博^{1,2)*}¹⁾長崎国際大学 薬学部²⁾一般社団法人室内環境学会 九州支部

Introduction and Further Prospect of the SIEJ KYUSHU Branch

室内環境学会九州支部は、2005年の産業医科大学での総会で、柳澤幸雄学会長（当時）のお取り計らいで「支部組織の設立による地方での学会活動の活性化」が呼びかけられ、初めての支部組織として九州支部会の設立が承認され、九州大学の田中昭代先生を初代支部長として発足しました。その後、産業医科大学の樺田尚樹先生が支部長を務められ（2009年～2012年）、2013年からは私が引き継ぎ現在に至っています。現在、会員数は38名（名誉会員3名、正会員31名、学生会員4名）です。

九州支部での学術大会は、2005年度に北九州市（産業医科大学、嵐谷奎一大会長）、2013年度に佐世保市（長崎国際大学、佐藤博大会長）、2017年度に佐賀市（佐賀大学、市場正良大会長）にて開催されました。九州支部会員は日頃から活動に協力的であり、これらの大会を通して更に結びつきが強くなりました。

活動としては、2007年度から毎年、大気環境学会九州支部と合同で講演会と研究発表会を行っています。コロナ禍の時は、Zoomを使用したオンライン開催でしたが、昨年度（第16回）から対面での開催を再開しました。例年、室内環境部門からは、4～5演題を一般研究発表しております。また、学校薬剤師として佐世保市内の私立高校の室内環境調査を継続しています。

本年9月には、初めての試みとして、田中昭代先生と市場正良先生を講師として対面とオンラインのハイブリッドで九州支部特別講演会を開催致しました。会場やオンライン参加者から多くの質問があり、大変好評でした。九州支部では今後、このようなWebを利用した講演会・セミナーを積極的に開催していきたいと考えています。

今回の特集では「SIEJ九州支部特集」として、九州支部特別講演会の内容を両先生方に室内環境学関連情報としてご執筆いただきました。また「室内環境」に毎号掲載されています「研究室紹介」や「薫風（会員の声）」につきましても、九州支部会員の先生方にご執筆をいただきました。

【室内環境学関連情報】

「身の回りの金属の古くて新しい健康影響 - 歴史の古い金属と新しい金属 -」（田中昭代先生）

「化学物質の自律的管理 労働安全衛生法関連法令の改正」（市場正良先生）

【研究室紹介】

「TOTO株式会社機器水栓事業部機器水栓技術部機器水栓化成技術グループ」（執筆者：古賀遼先生）

【薫風】

「火山灰が降る街で」（鹿児島大学、松鶴さとみ先生）

「い草・畳表の魅力を紐解く」（北九州市立大学、森田洋先生）

九州支部会としては、会員の発掘を目的として九州支部内の連携を密にして会員増を目指すとともに、会員同士が活発に交流することにより、九州支部の更なる発展を期待しております。



九州支部特別講演会（オンラインとのハイブリッド開催）の様子（2023年9月25日、長崎国際大学薬学部）

*Corresponding author（責任著者） E-mail: satoh@niu.ac.jp, Tel: 0956-20-5668